REIM産学連携コンソーシアム合同会議 実務家教員育成研修プログラム開発部会(令和5年度第2回) 議事録

(表中敬称略)

-			(衣甲蚁/柳岭)			
会議名	実務家教員育成研修プログラム開発部会(第2回)					
日 時	令和6年2月20日(水)10時30分~12時00分					
場所	オンライン(Zoom ミーティング)					
出席者(計14名)						
カテゴリ	所属(学校等・部門・部署)	役職	氏名			
産	一般社団法人近畿建設協会技術	部長	粟津 誠一			
	部					
産	一般社団法人建設コンサルタン		加藤 徹郎			
	ツ協会近畿支部(株式会社ニュ					
	ージェック)田底成智代理					
産	西日本高速道路株式会社(関	構造担当部長	佐溝 純一			
	西支社)					
産	西日本高速道路株式会社技術本	技術研修・開発担当課長	三好 真史			
	部(技術環境部)					
学 (連携校)	福島工業高等専門学校	教授	緑川 猛彦			
	都市システム工学科					
学 (連携校)	長岡工業高等専門学校	准教授	井林 康			
	環境都市工学科					
学 (連携校)	福井工業高等専門学校	准教授	樋口 直也			
	環境都市工学科					
学 (代表校)	舞鶴工業高等専門学校	教授・社会基盤メンテナンス教	〇玉田 和也			
	建設システム工学科	育センター長				
学 (代表校)	舞鶴工業高等専門学校	准教授・社会基盤メンテナンス	毛利 聡			
	建設システム工学科	教育センター副センター長				
事務局	福島工業高等専門学校	助教	浅野 寛元			
	都市システム工学科					
事務局	長岡工業高等専門学校	助教	白井 一義			
	環境都市工学科					
事務局	舞鶴工業高等専門学校 社会基	特命准教授	嶋田 知子			
	盤メンテナンス教育センター					
事務局	舞鶴工業高等専門学校 社会基	特命助教	掛園恵			
	盤メンテナンス教育センター					
事務局	香川高等専門学校	助教・社会基盤メンテナンス教	入江 正樹			
	建設環境工学科	育センター副センター長				
→ → → → → → → → → → → → → → → → →						

◎: 部会長, ○副部会長

議事次第

1. はじめに 舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科 教授 玉田 和也

2. 実務家教員育成研修プログラム (2023年度・第3期) について (報告・審議)

・指摘事項への対応状況***・ 資料 1・実施概要と実施結果***・ 資料 2

・プログラム受講効果 …… 資料 3

3	実務家教員育成研修プロ	グラムのフォロー	-アップ調査について	(報告
υ.	大物外线具 自从心心之 6	7 1 HV 1 1 A H		\ + X

・実務家教員育成研修プログラムのフォローアップ調査 …… 資料 4

4. 実務家教員育成研修プログラム (2024年度・第4期 について (報告・審議)

・受講者募集リーフレット (案) …… 資料 6

5. インフラメンテナンス分野の実務家教員による実践研究会について(報告)

6. 意見交換

ターゲットと受講促進について

7. まとめ

8. その他(今後の予定,事務連絡等)

以上



写真 6.4.4 舞鶴高専 玉田先生挨拶



写真 6.4.5 オンライン参加者

日時:令和6年2月20日(水)10:30~12:00

場所:オンライン (Zoom ミーティング)

1. はじめに 舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科 教授 玉田 和也

2. 実務家教員育成研修プログラム (2023年度・第3期) について (報告・審議)

・プログラム受講効果 … 資料3

- ✓ 今年度は新型コロナが収束したことで、フルバージョンで実施できた。
- ✓ 企業の中で学びを教えることが重要であるとの認識を高め、受講修了者が評価されるような仕組み作りが必要である。
- ✓ 修了者の活躍の様子を広く発信することも有用である。
- ✓ 次年度に向けては、資料3に示した5つの項目について取り組む。
- ✓ 受講者へのアンケート項目の設定において、マイナス面を引き出すような工夫を重ねることなどで改善を重ねていくことを確認し、了承を得た。
- 3. 実務家教員育成研修プログラムのフォローアップ調査について(報告)
 - ・実務家教員育成研修プログラムのフォローアップ調査 … 資料
- ✓ アンケートの対象者の理解度の深さによって回答の内容が変わってくるので注意が必要である。
- ✓ アンケートには、前段で組織としてどのような考えを持っているのかなどを問う項目があって もよい。
- 4. 実務家教員育成研修プログラム (2024 年度・第4 期) について (報告・審議)
 - ・受講者募集要項(案)

… 資料 5

・受講者募集リーフレット(案)

… 資料 6

- ✓ 受講促進の方向性をアンケートに反映して、その成果を受講促進につなげるといったループ的なところを実施していくべきである。
- ✓ 舞鶴高専はじめ各高専 OB への声掛けなども有効である。
- ✓ 実務家教員の母数を増やしていくことへの協力を確認し、了承を得た。
- 5. インフラメンテナンス分野の実務家教員による実践研究会について(報告)
 - •2023 年度活動状況

… 資料7

✓ 実務家教員のターゲットを若い人に向けることも検討してはどうか。

- ✓ 若い人や女性の参加の門戸を狭めないような取り組みは必要だが、若ければよいとか女性だったらよいとかいうものではない。
- ✓ JP-REIM ラボを通した人の交流に多くのメリットがあることを受講促進に PR するのがよい。

6. 意見交換

- ・ターゲットと受講促進について
- ✓ 勤務先の受講料支援が得やすいように受講料を分割して支払いができるようにする形があってもよいのではないか。
- ✓ 一週間連続のプログラムが2回であるとか、コンパクトに集中して学べる形にすると参加しや すいのではないか。
- ✓ 現在は土日開催だが、企業から参加する場合は勤務となるので、平日を多少含めたプログラム の構成にすることも検討してよい。

7. まとめ

8. その他(今後の予定,事務連絡等)

以上